

Ⅱ. 平成 23 年 4 月～6 月度の外務員登録資格試験について

1. 新法施行と外務員登録資格試験

平成 23 年 1 月に、改正商品先物取引法が施行され、従来の国内商品市場取引に加えて、外国商品市場取引と店頭商品デリバティブ取引も規制の対象となりました。この移行措置として、国内商品市場取引以外の取引を扱う外務員については、平成 23 年 6 月 30 日までの半年間の登録猶予期間が設けられました。この移行措置の終了間際には受験者が集中することが想定されたため、平成 23 年度は従来の 5 月度、6 月度に 4 月度を加え、東京会場と大阪会場これまで 3 回の外務員登録資格試験を実施しました。

出題数は、従来と同様に 30 問、1 問 10 点の配点で、300 点満点の 80% (240 点) 以上で合格となります。

試験科目は、会社の業態によって必要となる商品知識が全く異なるため、従来実施していた国内商品市場の「上場商品の基礎知識」を除外し、「商品先物市場論」「商品先物取引法令・諸規程」「商品先物取引業務の基礎知識」の 3 科目としました。

各科目の出題範囲に関しても見直しを行い、「商品先物取引法令・諸規程」では、①法令や本会の諸規程、②新たに「商品先物取引業者等の監督の基本的な指針」が定められたことを踏まえ大幅に変更いたしました。また、「商品先物取引業務の基礎知識」は、これまで国内商品取引所の受託契約準則を出題範囲としてきましたが、業態によって当該内容が全く業務に関係しない会社もあるため、出題範囲から除外しました。

平成 23 年 4 月から 6 月度における外務員登録資格試験に係る受験者数、合格者数、合格率、平均点は、表一 1 の通りです。

2. 平成 23 年 4 月度の外務員登録資格試験の結果について

東京地区で 20 名、大阪地区で 9 名の計 29 名の受験者がありました（国内商品市場取引の会社が 9 社 28 名、店頭商品デリバティブ取引の会社が 1 社 1 名）。全受験社 10 社中 1 社だけが全受験者不合格でしたが、その他の会社は高い合格率であったため、社内の教育体制に差があったのではないかと考えられます。

地区別には、東京地区の合格者数は 18 名、合格率 90.0%、平均点 270.0 点、大阪地区の合格者数は 8 名、合格率 88.9%、平均点 267.6 点となり、合格率、平均点とも東京地区が大阪地区を上回りました。そして、両地区を合わせた合格者は 26 名で、合格率は 89.7%、平均点は 269.2 点でした。

3. 平成 23 年 5 月度の外務員登録資格試験の結果について

東京地区で 156 名、大阪地区で 50 名の計 206 名の受験者がありました（国内商品市場取引の会社が 17 社 178 名、店頭商品デリバティブ取引の会社が 7 社 26 名、商品先物取引仲介業者が 1 社 2 名）。平成 22 年 5 月度と比較すると、67 名の増加でした。

試験結果については、合格率が 50%以下の会社が 6 社あり、それ以外の会社は概ね高い合格率となりました。全体の傾向としては、平成 23 年 1 月以降、新たに本会の会員となった会社に属する受験者の合格率が低かったといえます。これは、これまで本会の外

務員登録資格試験を受験したことがなかったことから、試験に向けての社内の準備が十分にできなかったことがうかがえます。

地区別には、東京地区の合格者数は134名、合格率85.9%、平均点262.5点、大阪地区の合格者数は47名、合格率94.0%、平均点266.7点と合格率、平均点とも大阪地区が東京地区を上回りました。そして、両地区を合わせた全体の合格者は181名、合格率87.9%、平均点263.5点であり、4月度と比較すると、合格率で1.8ポイント、平均点で5.7点下落しました。これは前述のように、試験の準備が不十分となってしまった会社があった影響によるものと考えられます。

4. 平成23年6月度の外務員登録資格試験の結果について

東京地区56名、大阪地区6名の計62名の受験者がありました（国内商品市場取引の会社が10社48名、店頭商品デリバティブ取引の会社が5社14名）。平成22年6月度と比較すると、60名の増加でした。試験結果については、ほとんどの会社がまんべんなく高い合格率となり、5月度で苦戦した新たに本会の会員となった会社も高い合格率となり、外務員登録資格試験への対策や教育体制が整ってきたことがうかがえる結果となりました。

地区別には、東京地区の合格者数は52名、合格率92.9%、平均点271.9点、大阪地区の合格者数は5名、合格率83.3%、平均点279.0点と合格率では東京地区が大阪地区を上回り、平均点では大阪地区が東京地区を上回りました。そして、両地区を合わせた全体の合格者は57名で、合格率91.9%、平均点272.6点であり、5月度と比較すると、合格率で4.0ポイント、平均点で9.1点上昇しました。これは前述のように、新たに本会の会員となった会社の試験に向けての社内の準備体制が整い、合格率・平均点を押し上げた結果によるものと考えられます。

表－1 平成23年4月～6月 外務員登録資格試験結果

		受験者数（名）	合格者数（名）	合格率（％）	平均点（点）
4 月度	東京	20	18	90.0	270.0
	大阪	9	8	88.9	267.6
	全体	29	26	89.7	269.2
5 月度	東京	156	134	85.9	262.5
	大阪	50	47	94.0	266.7
	全体	206	181	87.9	263.5
6 月度	東京	56	52	92.9	271.9
	大阪	6	5	83.3	279.0
	全体	62	57	91.9	272.6